

回復基調に入った北朝鮮経済

ERINA調査研究部研究員 三村光弘

2005年9月1日～8日、朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）の平壤を訪問した。今回の訪問は、北朝鮮経済の現状についての研究者との意見交換が主であった。

1. 経済学者とのインタビュー - 北朝鮮経済の現状と展望
社会科学院の経済学者との面談では、表1のように、北朝鮮経済について2005年から経済活性化の時期に入ったとの見解が示された。この時期区分がどのような経済の現状に基づいているかについては、明確な答えはなかったが、北朝鮮ではこのような認識が公式見解となっているようだった。

表1 1990年代後半以降現在までの北朝鮮経済の時期区分

時期	時期区分の内容
～1998年	跳躍の準備、「苦難の行軍」時期
1999～2004年	生産正常化の時期
2005年～	経済活性化の時期

（出所）朝鮮社会科学院の経済学者とのインタビューによる

経済活性化の目標は、過去の水準（1980年代中盤）を突破することにある。このような経済活性化を行うために、北朝鮮では経済管理の改善、エネルギー、生産設備の更新、流通、農業、人民生活の分野で様々な新しい動きがある。

経済管理の改善では、工場企業所の経営に関する権限拡大や細かい計画指標の制定権限の地方や現場への移譲、遊休生産力の利用における自主権、国家が定める生活費（給料）以上にボーナスを上乗せする権限など、経済の現状を直視し、現場に采配を任せる作風が生まれてきている。

エネルギーについては、石油は依然不足しているものの、2004年からは安定した状態で生産が増加しており、2006年～07年の間に電力問題が解消されると北朝鮮の経済学者は見ている。

生産設備の更新については、今後数年間のうちに機械工業の現代化を行い、生産がもっとも多かった時期1980年代中盤の水準を突破することを目標としている。

流通については、消費財供給の場である地域市場のほかに、国家的に供給ができない資材について、企業所相互間で物資を融通しあうシステムである「社会主義物資交流市場」が国营企業所を中心に稼働しており、遊休資材等が両者の合意価格で取引されている。

2005年10月1日より全般的な食糧供給制が再開され、同時に食糧専売制が開始された。生産者米価が消費者米価よ

りも高く、逆ざやを国家の財政負担でまかなうようになった。

農業においては、分組管理制（1965年創設）の分組規模を減少させる試みを、試行中である。また、1990年代中葉に4つの革命方針を出し、種子の改良、ジャガイモ生産の奨励、二毛作の奨励、土地整理と水利化の改善を行ってきた。

人民生活の向上については、生活水準向上の目標を先進国の都市住民の水準に上げることが目標としており、食糧と13の一次消費品（醤油、みそ、塩、洗顔石鹸、洗濯石鹸、洗顔用タオル、糸、歯磨き粉、歯ブラシ、家庭用燃料、靴下、靴、パンツ）の国産での供給を重視している。軽工業では、靴や基礎食品（醤油、みそ、食用油、化学調味料）紡績、化粧品などの工場を近代化に力を入れ、紡績、化粧品工場などを整備している。



【写真1】きれいになった平壤の栄光通り



【写真2】栄光通りのアイスクリーム屋台

2. 統一通り市場の訪問

今回も統一通り市場を訪問した。昨年夏の訪問の時と同じく、活気あふれる様子であった。写真は撮影禁止とのことで撮ることができなかった。一部の価格について、店の人に聞いてみた結果、表2のような結果が得られた。金額

を見ると全体的に金額が上がっているが、何倍にもなっているという金額ではなかった。また、この金額は言い値であって、実際に買おうとするとこの価格から最低1割、最高5割くらいは引いてくれる感触があった。昨年よりも今年の方が、値引き交渉の腕は上がっている、すなわち手強くなっている感触を受けた。

価格表の利用については、食料品は季節や作柄で変動が激しいし、国営商業網での商品の流通状況など、価格を左右する要素が複数あるので、定期的に価格を調べたとしても、平壤市民の台所事情をすべて反映しているわけではな

表2 統一通り市場の価格

（金額の単位：朝鮮ウォン）

番号	品名	単位	2005年9月 現在の価格	2004年8月 現在の価格	備考
1	米	キ口	650		中国産
			680		朝鮮産
			800	680	クアンナム米
2	小麦粉	キ口	650	350	薄力粉
			700		強力粉
3	とうもろこし	キ口	300		
4	じゃがいも	キ口	300		
5	さつまいも	キ口	600		
6	すいか	個	7,000	6,000	
7	梨	キ口	2,200	1,000	朝鮮産
			2,000		中国産
8	バナナ	キ口	2,200	1,800	
9	トマト	キ口	2,000	500	
10	にんにく	キ口	1,700~2,000	1,000	大きさによる
11	もやし	キ口	300		
12	鶏卵	個	180		養鶏場ケージで生産
			160		農家で生産
13	化学調味料	ポンド	1,400	450	
14	ボンハクビール	瓶	950	550	
15	大同江ビール	瓶	850~950	660	11度。店により価格は異なる。
16	いわし	キ口	1,500	1,300	
17	スケトウダラ	キ口	2,700		冷凍
18	イカ	キ口	2,000		冷凍
19	辛子明太子	キ口	20,000	1,800	
20	チャンジャ	キ口	10,000		
21	ごま油	500cc	3,000~6,000		銘柄による
			2,300		中国産・メーカー製
22	大豆油	キ口	2,100		朝鮮産・量り売り
			2,300		中国産・メーカー製
23	白砂糖	キ口	950		
24	粗糖	キ口	900		
25	精製塩	キ口	560		
26	単三乾電池	個	100	60~70	
27	100W電球	個	50		朝鮮製

く、趨勢を知る程度にしか利用出来ないことを感じた。

3. 党創建60周年記念行事の準備とマスゲーム「アリラン」

平壤では10月10日の朝鮮労働党創建60周年記念行事の準備のために、市内のあちこちで行進や歌の練習などが行われていた。平壤市中心部の金日成広場でも、学生が行進練習が行われていた。練習自体は拡声器で指示を出して行進させる単純な内容であった。なかなかうまくいかないようであったが、指示者の言葉は丁寧で、予想していたようなハードな感じではなかった。しかし、本来学校で勉強しているべき学生が動員されて練習しているコストがどれくらいの社会的負担になるのか、そのあたりのコスト計算が行われているのかどうかは不明である。



【写真3】「アリラン」の一場面



【写真4】金日成広場での行進練習の様子

滞在期間中、マスゲーム「アリラン」を見る機会があった。このマスゲームには、韓国からも期間中8,000人ほどの観光客が訪れたという人気のショーである。このマスゲームの多くは、平壤市内の小中高校生の動員によって行われている。長時間にわたって演技を行ったり、パネルを持って立っているのは大変だろうと思った。諸外国や韓国との文化交流の一端を担っており、「アリラン」期間中は

北朝鮮の画家が描いた絵などが飛ぶように売れたそうなので、外貨稼ぎにも寄与しているであろうが、子供たちの時間をとっているというコストが計算されているのかどうか、少し気になるところもあった。